ALPHATEC
polymer technology

土木建築用　水中硬化性／可とう性／チキソ性エポキシ接着剤

アルファテック343TX

アルファテック343TXは、水中接着型の可とう性エポキシ接着剤です。乾燥面はもとより、濡れたコンクリートと鋼材に対しても、高い接着性能を発揮します。さらに、流動性やチキソ性も併せ持っているので、充填性に優れています。そのため、土木や建築における、動きのあるコンクリート構造物のひび割れや目地の補修、コンクリート構造物の継部や隙間の充填接着などに最適です。

特長

- 優れた可とう性を長期間にわたって保持するので、構造物の伸縮に追従できます。
- 高チキソトロピーでダレにくいので、塗布や、大きなひび割れへの注入が容易で、施工性に優れています。
- 濡れた面の接着で、コンクリートと鋼材に、高い接着強度を発揮します。

用途

- 動きのあるコンクリート構造物のひび割れや目地の充填接着

テクニカルデータ

未硬化物の性状（20℃）		
	アルファテック343TX	
	主剤	硬化剤
主成分	変性エポキシ樹脂	変性脂肪族ポリアミン
混合比（重量）	100	56
チキソトロピックインデックス	5±2	
比重	1.15±0.05	
可使時間	40分	

硬化物の性状

試験項目	試験方法	養生条件	物性値
引張強さ（N/mm²）	JIS K 7161	23℃×7日	2
伸び率（%）	JIS K 7161	23℃×7日	25
圧縮せん断接着強さ（N/mm²）（セメントモルタル相互）	JIS K 6852	23℃×7日（乾燥）	3 COF
		23℃×7日（湿潤）	2 COF
接着強さ（N/mm²）（セメントモルタル相互）	JIS A 6024	23℃×7日（乾燥）	5 COF
		23℃×7日（湿潤）	3 COF
硬化収縮率（%）	JIS A 6024	23℃×7日	1.5
硬度（HDA）	JIS K 7215	23℃×7日	75

※COF：接着剤破壊

※上記結果は、当社の試験、研究で得られた試験値です。

使用方法

①下地処理：コンクリートの脆弱部分や付着物など、鋼材の錆や塗料・付着物などを除去して下さい。

②樹脂混合：主剤と硬化剤を重量比100：56で必要量取り分け、ミキサーで均一になるまで1～2分混合して下さい。
・推奨樹脂ミキサー：HIKOKI変速ドリル(D10VH2/0～2600rpm)・ミキサーブレード(Φ80mm)。混合は500～1000rpmで使用して下さい。
◇過度攪拌による気泡混入に注意して下さい。
◇小分けする場合は混合比率で使用して下さい。

③樹脂除去：器具などに付着した樹脂は硬化する前にアセトンやシンナーなどで除去して下さい、硬化樹脂はバーナーで軽く炙り除去して下さい。

容器形態

【10kg / 8.6L セット】

主剤	6.4kg	（角缶）
硬化剤	3.6kg	（角缶）

※本品は改良のため性状、性能を変更する場合があります。予めご了承くださいますようお願い致します。

注意事項

・直接皮膚に接触するとかぶれを生じることがありますので、取り扱いに注意して下さい。
・取り扱いには保護具（保護メガネ、ゴム手袋、マスク等）を着用し、換気を充分に行って下さい。
・樹脂が皮膚に付着した場合は速やかに拭き取り、石鹸水等でよく洗い流して下さい。
・目に入った場合は多量の水で洗浄し、医師の診察を受けて下さい。
・使用にあたってはSDSをお読み下さい。

アルファ工業株式会社
ALPHA KOGYO K.K.

横浜本社　〒230-0045　横浜市鶴見区末広町1-1-51　TEL：045-500-0500　FAX：045-500-0550
URL：https://www.alpha-kogyo.com　／　E-mail：alpha-kogyo@alpha-kogyo.co.jp
1-1-51 SUEHIRO-CHO, TSURUMI-KU, YOKOHAMA-SHI, 230-0045 JAPAN
神戸事業所　〒652-0882　神戸市兵庫区芦原通6-3-3　TEL：078-681-7051　FAX：078-671-2282
6-3-3 ASHIHARADORI, HYOGO-KU, KOBE-SHI, 652-0882 JAPAN